

— エコテックス®(OEKO-TEX®)国際共同体発表 2025.1.15 News Release No.3-2 —

2025年4月発効 **エコパスポート認証**の新規制について

エコテックス®国際共同体は、各認証およびラベルに適用する試験基準、規制値、要求事項の年次更新作業を完了し、1月14日に情報公開しました。規制値の変更点につきましては、別途、[規制値表\(エコパスポート認証\)](#)にてご確認ください。エコテックス®エコパスポートに関する以下の新規制は、3か月の移行期間を経て2025年4月1日から適用されます。

1.汎用化学薬剤およびメンテナンス用化学薬剤

これまで、エコパスポートは主に、特定の繊維用途向けに配合された特殊化学薬剤を認定してきました。2025年以降、エコテックス®エコパスポートは、その範囲を汎用化学薬剤およびメンテナンス用化学薬剤にまで拡大します。

汎用化学薬剤は、通常はサプライチェーンのスタートで大量に生産され、さまざまな用途に使用されるベーシックな化学物質です。これにより、繊維サプライチェーンのより広範なセグメントをカバーできるようになり、繊維製品の生産に使用される、より広範囲の化学物質をモニタリングできるようになります。

エコテックス®は、これらの製品群を追加することで、環境保護を優先しながら有害物質を早期かつ段階的に廃止し、労働者の安全を確保することを目指しています。

リサイクルのような、セカンドライフを由来とする汎用化学薬剤は、その品質を保証するために、より頻繁に試験を実施されることとなります。

2.生分解性

エコパスポート認証保有者は、自社の化学製品が生分解性であるかどうかを証明する機会が得られ、それは証明書にも記載されます。エコテックス®は、生分解性は持続可能な繊維／皮革産業の重要な部分であり、川上となる化学薬剤で利用できるほど良いと考えています。

界面活性剤、柔軟剤、錯化剤として使用されるエコパスポートで認証された化学物質は、エコテックス®、または第三者機関によって生分解性の証明を提出する必要があります。この用途の、すでに認証されている製品には、適応するために1年間の移行期間があります。

3.環境に関する危険有害性情報のコード(H-Phrases)

特定の危険有害性情報のコード(H340、H341、H350、H351、H360、H361)で分類される化学物質の意図的な使用は、エコパスポートで禁止されています。これまで、これらの制限は主に人体への毒性に焦点を当ててきました。これをさらに一歩進めて、エコテックス®では、特定の環境に関わる危険有害性情報のコードに分類される化学物質を詳しく調査し、その用途、一般的な使用、および考えられる代替品に関する情報を取得します。このため、上表の危険有害性情報のコードは監視対象とします。

Code	情報
H400	水生生物に非常に強い毒性
H410	長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性
H411	長期継続的影響により水生生物に非常に毒性
H413	長期継続的影響により水生生物に非常に有害のおそれ
H420	オゾン層を破壊し、健康および環境に有害

エコテックス®新規制の詳細については、OEKO-TEX®(info@oekotex.com)または最寄りのエコテックス®認証機関(<https://www.oeko-tex.com/offices>)にお問い合わせください。

3か月の移行期間を経て、2025年4月1日から、エコテックス®エコパスポート新試験基準と規制値がすべての認証に対して拘束力を持ちます。

<お問い合わせ先>

エコテックス®認証について

一般財団法人ニッセンケン品質評価センター
ライフ アンド ヘルス事業本部 エコテックス®事業部
E-mail : oeko-tex@nissenken.or.jp

エコテックス®PRについて

一般財団法人ニッセンケン品質評価センター
事業推進室 マーケティンググループ
E-mail : pr-contact@nissenken.or.jp